

第3章 事業実施想定区域及びその周囲の概況

3.1 自然的状況

事業実施想定区域及びその周囲の自然的状況を把握するにあたり、環境要素に係る環境影響を受けるおそれのある図 2.2-2 の範囲を調査区域としました。また図 2.2-2 に示す範囲は、一般的に道路事業において想定される環境影響（大気質、騒音、振動、水質、動物、植物、生態系、景観、人と自然との触れ合いの活動の場、廃棄物等）の影響を受けるおそれのある範囲を網羅できる範囲となっております（本書において最も広範囲に設定する環境要素は景観であり、「道路環境影響評価の技術手法（平成 24 年度版）」（平成 25 年 3 月 国土技術政策総合研究所資料 No. 714、土木研究所資料 No. 4254）を参考に設定しました。

3.1.1 気象、大気質、騒音、振動その他の大気に係る環境の状況

1) 気象の状況

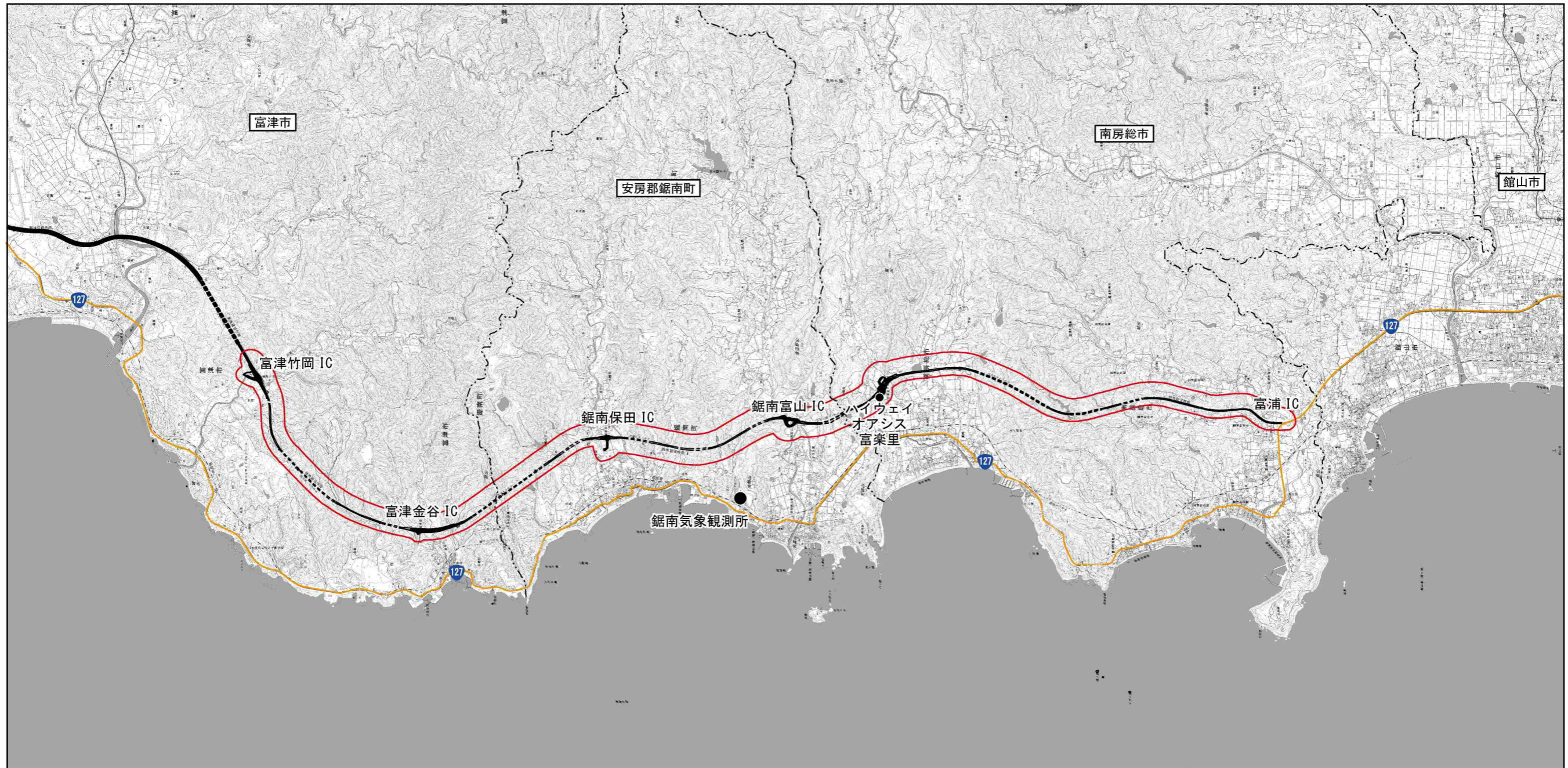
事業実施想定区域及びその周囲においては、鋸南地域気象観測所があげられ、安房郡鋸南町に位置しています。気象の概況は表 3.1-1 に、気象観測所の位置は、図 3.1-1 に示すとおりです。

鋸南地域気象観測所における 2020 年の月間降水量の平均は 140.3mm となっています。

表 3.1-1 鋸南地域気象観測所における観測結果(2020 年)

項目 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
降水量(mm)	153.5	34.5	179.0	186.5	80.5	221.0	407.5	15.5	119.0	217.5	38.5	31.0	140.3

出典：「気象統計情報」（令和 3 年 3 月現在、気象庁ホームページ）



凡 例

- 事業実施想定区域
- 既存自動車専用道路
- - - 既存自動車専用道路（トンネル部）
- · - · - 市町界
- 気象観測所

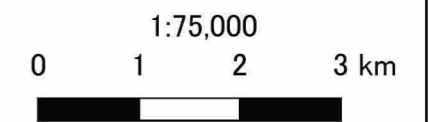


図 3.1-1 気象観測所位置図

出典「気象観測所一覧」（令和3年3月現在、気象庁）

2) 大気質の状況

事業実施想定区域及びその周囲においては、一般環境大気測定局(以下、「一般局」という。)として2局存在しています。また、降下ばいじん測定地点は1ヶ所存在しています。測定項目は表 3.1-2 に、測定局位置は図 3.1-2 に示すとおりです。

なお、事業実施想定区域及びその周囲における自動車排出ガス測定局はありません。

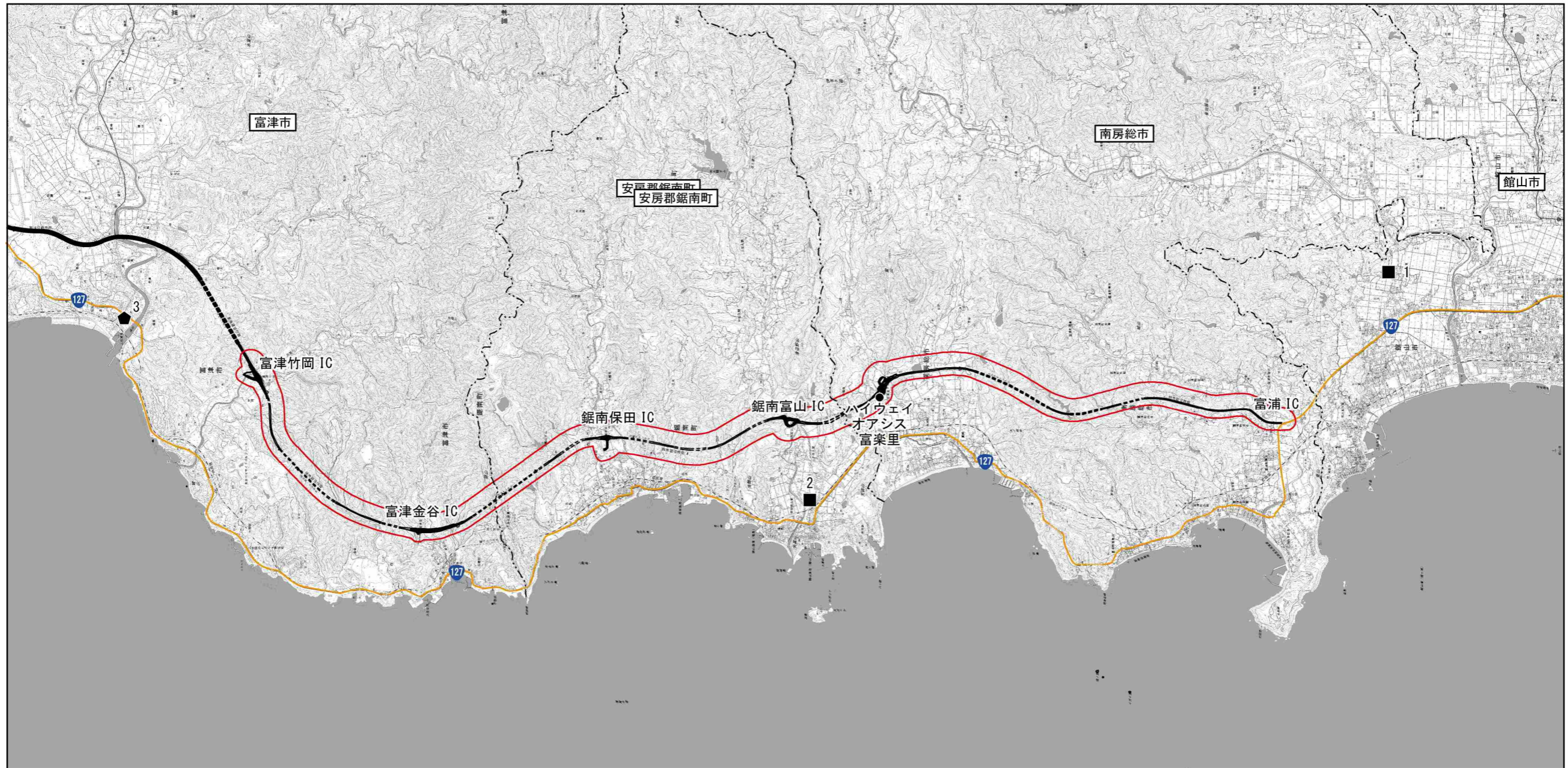
表 3.1-2 大気環境常時監視測定局

区分	No.	測定局名	所在地	測定項目										
				二酸化硫黄	二酸化窒素	一酸化炭素	光化学オキシダント	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	風向・風速	温度・湿度	日射量	雨量	降下ばいじん
一般局	1	館山亀ヶ原 ^{注1)}	館山市 亀ヶ原 754	○	○		○	○	○	○	○			
	2	鋸南下佐久間	鋸南町 下佐久間 3458		○		○	○		○	○			
降下ばいじん測定地点	3	湊 (消防署天羽分署)	富津市 湊 269-2											○

注1) 館山亀ヶ原においては、下記の有害大気汚染物質等も測定されています。それらの結果は、表 3.1-3(2)に示します。

- ・環境基準が設定されている物質
ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン
- ・指針値が設定されている物質
アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀及びその化合物、ニッケル化合物、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエン、ヒ素及びその化合物、マンガン及びその化合物、アセトアルデヒド、塩化メチル
- ・環境基準、指針値が設定されていない物質
酸化エチレン、ベンゾ[a]ピレン、ホルムアルデヒド、ベリリウム及びその化合物、クロム及びその化合物、トルエン

出典：「令和元年度大気環境常時測定結果」(令和2年9月、千葉県環境生活部)
「令和元年度有害大気汚染物質等測定結果」(令和2年9月、千葉県環境生活部)
「富津市の環境(令和2年度)」(更新日：令和3年4月7日、富津市ホームページ)



凡例

- 事業実施想定区域
- 既存自動車専用道路
- - - 既存自動車専用道路（トンネル部）
- · - · - 市町界
- 一般環境大気測定局
- ◆ 降下ばいじん測定地点



図 3.1-2 大気環境常時監視測定局位置図

出典：「令和元年度大気環境常時測定結果」（令和2年9月、千葉県環境生活部）
「富津市の環境（令和2年度）」（更新日：令和3年4月7日、富津市ホームページ）

各測定局における二酸化硫黄(以下、「SO₂」という。)、二酸化窒素(以下、「NO₂」という。)、光化学オキシダント(以下、「O_x」という。)、浮遊粒子状物質(以下、「SPM」という。)、微小粒子状物質(以下、「PM_{2.5}」という。)、有害大気汚染物質及び降下ばいじんの経年変化(平成27年度～令和元年度)は、表 3.1-3 及び図 3.1-3～図 3.1-7 に示すとおりです。

一般局において、SO₂については、館山亀ヶ原測定局で測定されており、環境基準を達成しています。NO₂については、調査区域内の2局で測定されており、環境基準及び千葉県環境目標値を2局とも達成しています。O_xについては、調査区域内の2局で測定されており、2局とも環境基準非達成となっています。SPMについては、調査区域内の2局で測定されており、長期的評価及び短期的評価の環境基準を2局とも達成しています。また、PM_{2.5}については、館山亀ヶ原測定局で測定が行われており、環境基準を達成しています。その他、館山亀ヶ原測定局では有害大気汚染物質等が測定されており、それらの結果は環境基準や環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値(指針値)を超過する項目はありません。

降下ばいじんは、湊(消防署天羽分署)において測定されており、平成27年度から令和元年度では1.6～2.4 t/km²/月で推移しています。

表 3.1-3(1) 大気質の状況(一般局：館山亀ヶ原局)

測定局	項目		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	環境基準	
館山亀ヶ原	SO ₂ (ppm)	年平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	【短期的評価】 1時間値が0.100ppm以下で、かつ、日平均値が0.040ppm以下であること。 【長期的評価】 日平均値の2%除外値が0.040ppm以下で、かつ、日平均値が0.040ppmを超えた日が2日以上連続していない	
		短期的評価	1時間値が0.10ppmを超えた時間数(時間)	0	0	0	0		0
			日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)	0	0	0	0		0
			環境基準との比較	○	○	○	○		○
		長期的評価	日平均値の2%除外値	0.002	0.003	0.002	0.002		0.002
			日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	無	無	無	無		無
	環境基準との比較		○	○	○	○	○		
	NO ₂ (ppm)	年平均値	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	【環境基準】 1時間値の1日平均値が0.04~0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。 【千葉県環境目標値】 日平均値の年間98%値が0.04ppm以下であること。	
		1日平均値の年間98%値	0.011	0.012	0.010	0.010	0.010		
		環境基準との比較	○	○	○	○	○		
	Ox (ppm)	昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数	0	0	0	1	1	1時間値が0.06ppm以下であること。	
		昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数	55	55	76	60	54		
		昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数	338	298	490	326	273		
		環境基準との比較	×	×	×	×	×		
	SPM (mg/m ³)	年平均値	0.020	0.018	0.019	0.020	0.013	【短期的評価】 1時間値が0.200mg/m ³ 以下で、かつ、日平均値が0.100mg/m ³ 以下であること。 【長期的評価】 日平均値の2%除外値が0.100mg/m ³ 以下で、かつ、日平均値が0.100mg/m ³ を超えた日が2日以上連続していないこと。	
		短期的評価	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数(時間)	0	0	0	0		0
			日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数	0	0	0	0		0
			環境基準との比較	○	○	○	○		○
		長期的評価	日平均値の2%除外値	0.042	0.039	0.043	0.046		0.034
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続したことの有無			無	無	無	無	無		
環境基準との比較	○		○	○	○	○			
PM2.5 (µg/m ³)	短期基準	1日平均値の年間98%値	24.5	23.0	25.3	23.4	23.7	【短期基準】 日平均値の年間98%値が35µg/m ³ 以下であること。	
		環境基準との比較	○	○	○	○	○		
	長期基準	1年平均値	10.7	10.4	10.4	10.9	9.1	【長期基準】 年平均値が15µg/m ³ 以下であること。	
		環境基準との比較	○	○	○	○	○		

注1)環境基準との比較欄：○は環境基準を満足していることを示し、×環境基準を満足していないことを示します。

注2)千葉県環境目標との比較欄：○は千葉県環境目標値を満足していることを示し、×は千葉県環境目標値を満足していないことを示します。

出典：「令和元年度大気環境常時測定結果」(令和2年9月、千葉県環境生活部)

表 3.1-3(2) 大気質の状況(一般局：館山亀ヶ原局、有害大気汚染物質等)

測定局	項目	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	環境基準又は指針値 ^{注1)}	
館山 亀ヶ原	ベンゼン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均値	0.69	0.76	0.74	0.51	0.80	【環境基準】1年平均値が 0.003mg/m ³ (3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)以下
		環境基準との比較	○	○	○	○	○	
	トリクロロエチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均値	0.067	0.140	0.070	0.076	0.160	【環境基準】1年平均値が 0.13mg/m ³ (130 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)以下
		環境基準との比較	○	○	○	○	○	
	テトラクロロエチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均値	0.040	0.054	0.044	0.039	0.050	【環境基準】1年平均値が 0.2mg/m ³ (200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)以下
		環境基準との比較	○	○	○	○	○	
	ジクロロメタン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均値	0.52	0.62	0.82	0.53	0.69	【環境基準】1年平均値が 0.15mg/m ³ (150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)以下
		環境基準との比較	○	○	○	○	○	
	アクリロニトリル ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均値	0.016	0.065	0.006	0.006	0.065	【指針値】1年平均値が 2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
		指針値との比較	○	○	○	○	○	
	塩化ビニルモノマー ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均値	0.015	0.017	0.007	0.007	0.017	【指針値】1年平均値が 10 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
		指針値との比較	○	○	○	○	○	
	水銀及びその化合物 (ng-Hg/m ³)	年平均値	1.8	1.4	1.3	1.3	1.4	【指針値】1年平均値が 40ng-Hg/m ³ 以下
		指針値との比較	○	○	○	○	○	
	ニッケル化合物 (ng-Ni/m ³)	年平均値	0.7	2.6	1.9	2.2	3.9	【指針値】1年平均値が 25ng-Ni/m ³ 以下
		指針値との比較	○	○	○	○	○	
	クロホルム ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均値	0.15	0.17	0.17	0.13	0.14	【指針値】1年平均値が 18mg/m ³ 以下
		指針値との比較	○	○	○	○	○	
	1,2-ジクロロエタン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均値	0.14	0.12	0.17	0.14	0.17	【指針値】1年平均値が 1.6 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
		指針値との比較	○	○	○	○	○	
	1,3-ブタジエン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均値	0.047	0.047	0.035	0.037	0.011	【指針値】1年平均値が 2.5mg/m ³ 以下
		指針値との比較	○	○	○	○	○	
	ヒ素及びその化合物 (ng-As/m ³)	年平均値	0.24	0.63	0.67	0.81	0.81	【指針値】1年平均値が 6ng-As/m ³ 以下
		指針値との比較	○	○	○	○	○	
	マンガン及びその化合物 (ng-Mn/m ³)	年平均値	3.1	16.0	8.8	9.9	15.0	【指針値】1年平均値が 140ng-Mn/m ³ 以下
		指針値との比較	○	○	○	○	○	
	アセトアルデヒド ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均値	1.10	1.70	1.10	0.91	1.2	【指針値】1年平均値が 120 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
		指針値との比較	○	○	○	○	○	
酸化エチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均値	0.087	0.056	0.054	0.048	0.048	—	
ベンゾ[a]ピレン (ng/m ³)	年平均値	0.14	0.55	0.36	0.10	0.13	—	
ホルムアルデヒド ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均値	1.4	2.5	1.4	1.1	1.6	—	
ベリリウム及びその化合物 (ng-Be/m ³)	年平均値	0.0020	0.0100	0.0070	0.0093	0.011	—	
クロム及びその化合物 (ng-Cr/m ³)	年平均値	0.90	2.40	2.40	2.40	3.2	—	
トルエン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均値	27.0	5.6	2.8	178	3.0	—	
塩化メチル ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均値	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4	【指針値】1年平均値が 94 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	
	指針値との比較	○	○	○	○	○		

注1) 指針値とは「環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値」を示します。

注2) 環境基準との比較欄：○は環境基準を満足していることを示し、×環境基準を満足していないことを示します。

注3) 指針値との比較欄：○は指針値を満足していることを示し、×は指針値を満足していないことを示します。

注4) 環境基準又は指針値の欄において、「—」は環境基準および指針値がないことを示します。

注5) 測定結果については、出典に記載されている単位に合わせて掲載しました。

注6) 年平均値：月毎の測定値が検出下限値未満のときは、当該測定における測定結果を検出下限値の1/2として年平均値を算出しています。

この方法により算出した年平均値が、全測定の最大の検出下限値未満の数値であった場合は、その値を斜字体として表示しています。

出典：「令和元年度大気環境常時測定結果」(令和2年9月、千葉県環境生活部)

表 3.1-3(3) 大気質の状況(一般局：鋸南下佐久間)

測定局	項目		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	環境基準	
鋸南下佐久間	NO ₂ (ppm)	年平均値	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	【環境基準】 1時間値の1日平均値が 0.04~0.06ppm までのゾー ン内又はそれ以下である こと。 【千葉県環境目標値】 日平均値の年間 98%値が 0.04ppm 以下であること。	
		1日平均値の年間 98%値	0.017	0.017	0.015	0.015	0.017		
		環境基準との比較	○	○	○	○	○		
		千葉県環境目標値との 比較	○	○	○	○	○		
	Ox (ppm)	昼間の1時間値が0.12ppm以 上の日数	0	0	0	0	0	1時間値が0.06ppm以下で あること。	
		昼間の1時間値が0.06ppmを 超えた日数	40	64	78	63	52		
		昼間の1時間値が0.06ppmを 超えた時間数	218	307	425	289	261		
		環境基準との比較	×	×	×	×	×		
	SPM (mg/m ³)	年平均値	0.022	0.020	0.015	0.016	0.014	【短期的評価】 1時間値が0.200mg/m ³ 以 下で、かつ、日平均値が 0.100mg/m ³ 以下であるこ と。 【長期的評価】 日平均値の 2%除外値が 0.100mg/m ³ 以下で、かつ、 日平均値が 0.100mg/m ³ を 超えた日が2日以上連続し ていないこと。	
		短期的 評価	1時間値が0.20mg/m ³ を 超えた時間数(時間)	0	0	0	0		0
			日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日数	0	0	0	0		0
			環境基準との比較	○	○	○	○		○
		長期的 評価	日平均値の 2%除外値	0.044	0.040	0.037	0.043		0.035
日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日が 2 日以上 連続したことの有無			無	無	無	無	無		
環境基準との比較	○		○	○	○	○			

注1) 環境基準との比較欄：○は環境基準を満足していることを示し、×環境基準を満足していないことを示します。

注2) 千葉県環境目標との比較欄：○は千葉県環境目標値を満足していることを示し、×は千葉県環境目標値を満足していないことを示します。

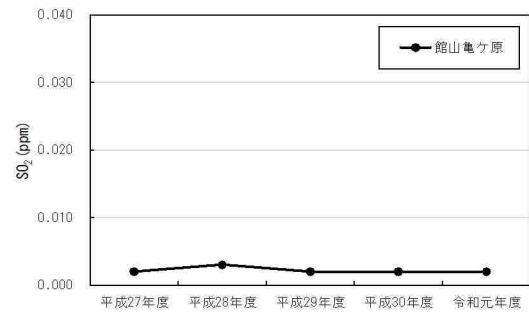
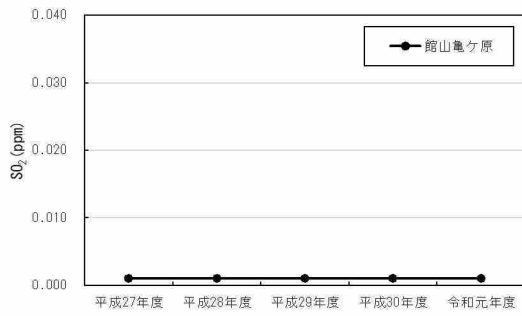
出典：「令和元年度大気環境常時測定結果」(令和2年9月、千葉県環境生活部)

表 3.1-3(4) 大気質の状況(湊(消防署天羽分署)：降下ばいじん)

t/km²/月

測定地点	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
湊(消防署天羽分署)	1.6	2.4	2.0	2.1	2.4

出典：「富津市の環境(令和2年度)」(更新日：令和3年4月7日、富津市ホームページ)

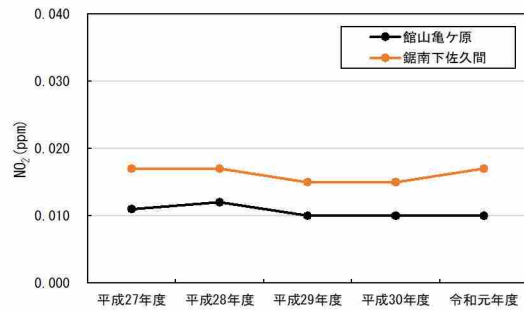
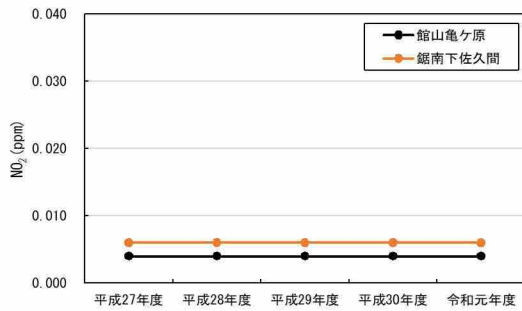


年平均値

日平均の2%除外値

出典：「令和元年度大気環境常時測定結果」（令和2年9月、千葉県環境生活部）

図 3.1-3 一般局における SO₂ の経年変化

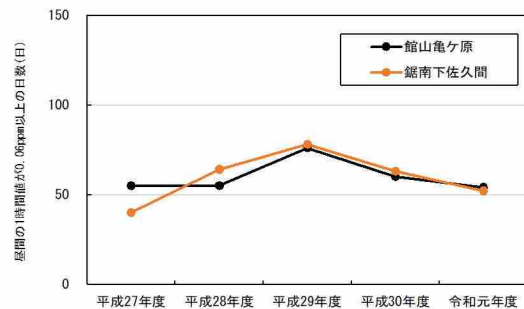
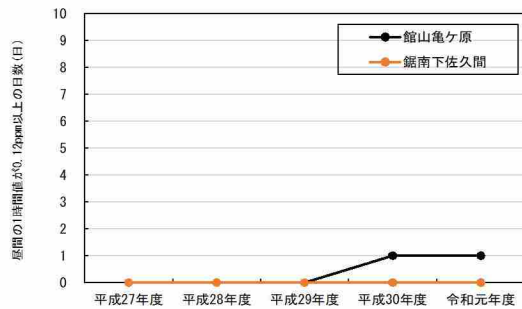


年平均値

1日平均値の年間98%値

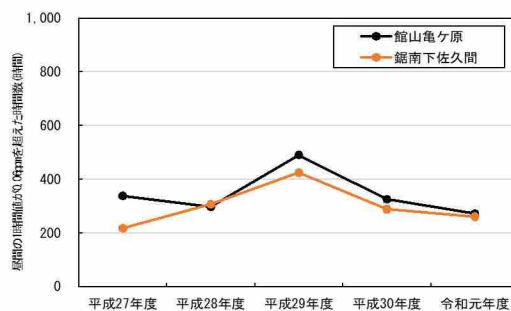
出典：「令和元年度大気環境常時測定結果」（令和2年9月、千葉県環境生活部）

図 3.1-4 一般局における NO₂ の経年変化



昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数

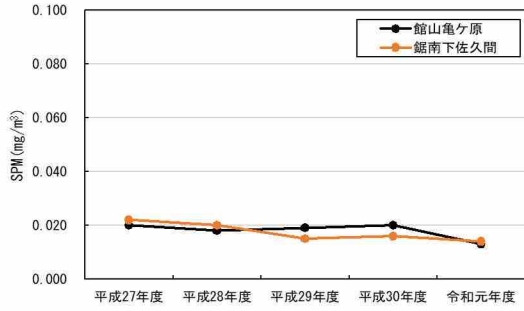
昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数



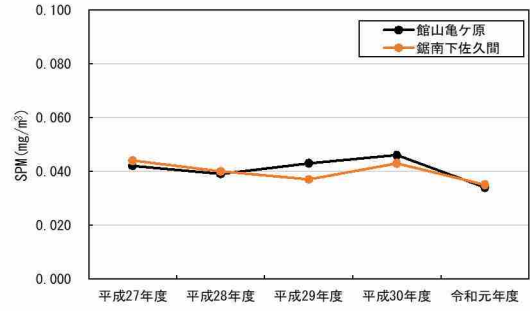
昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数

出典：「令和元年度大気環境常時測定結果」（令和2年9月、千葉県環境生活部）

図 3.1-5 一般局における O_x の経年変化



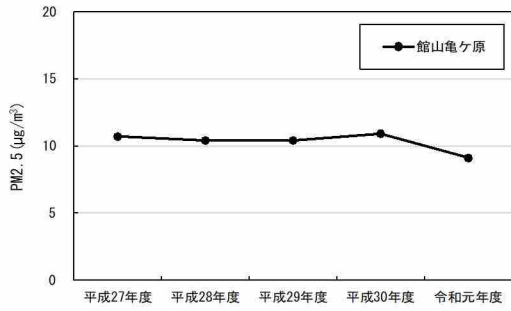
年平均値



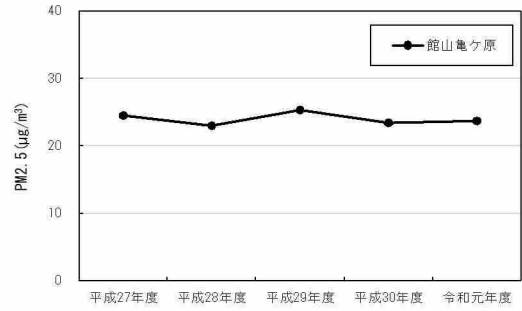
日平均の2%除外値

出典：「令和元年度大気環境常時測定結果」（令和2年9月、千葉県環境生活部）

図 3.1-6 一般局における SPM の経年変化



年平均値



1日平均値の年間98%値

出典：「令和元年度大気環境常時測定結果」（令和2年9月、千葉県環境生活部）

図 3.1-7 一般局における PM2.5 の経年変化

3) 騒音の状況

(1) 環境騒音

事業実施想定区域及びその周囲においては、令和元年度に環境騒音の測定が4地点で実施されています。

このうち、「地域交流支援センター「カナリエ」」では、夜間の環境基準を超過していますが、その他の地点では環境基準を満足しています。

表 3.1-4 富津市における環境騒音測定結果(令和元年度)

No.	測定地点	住所	地域 類型	測定結果		評価 ^{注1}	
				昼間	夜間	昼間	夜間
A	中央保育所	富津市数馬 579	無	45	38	○	○
B	金谷コミュニティーセンター	富津市 金谷 2197-18	無	51	42	○	○
C	地域交流支援センター「カナリエ」 ^{注2}	富津市 岩坂 487-5	無	55	50	○	×
D	竹岡コミュニティーセンター	富津市 竹岡 473-1	無	45	37	○	○

注1) 類型指定地域の区分に入らない都市計画区域以外の地域は、環境基準の中で最も厳しいA類型及び道路に面する地域の環境基準(昼間：55dB、夜間：45dB)をあてはめて評価しています。

注2) 令和2年4月から、「天羽老人憩の家」は「地域交流支援センター「カナリエ」」となりました。

出典：「富津市の環境(令和2年度)」(更新日：令和3年4月7日、富津市ホームページ)

(2) 道路交通騒音

事業実施想定区域及びその周囲においては、令和元年度に道路交通騒音の面的評価に係る調査が4地点で実施されています。調査結果は表 3.1-5 に、調査地点は図 3.1-8 に示すとおりです。

面的評価の調査結果をみると、昼間・夜間とも環境基準値以下となっている割合は、99.8%～100.0%となっています。

表 3.1-5 道路交通騒音調査結果(面的評価、令和元年度)

No.	路線名	測定地点の住所	環境基準類型	評価区間の住所	等価騒音レベル (デシベル)		評価区間の延長 (km)	環境基準との比較			
					昼間	夜間		昼間・夜間とも 基準値以下	昼間のみ 基準値以下	夜間のみ 基準値以下	昼間・夜間とも 基準値超過
1	一般国道127号	南房総市久枝257	X	南房総市富浦町深名 ～ 南房総市二部	69	62	10.1	100	0	0	0
2	一般国道127号	富津市金谷	B	富津市金谷 ～ 富津市湊	66	61	10.7	99.8	0	0	0
3	浜金谷停車場線	富津市金谷	B	富津市金谷 ～ 富津市金谷	61	54	1	100	0	0	0
4	館山自動車道	富津市花輪	B	富津市鶴岡 ～ 富津市竹岡	50	47	6.2	100	0	0	0

注1) 昼間の時間区分は6:00～22:00、夜間の時間区分は22:00～6:00です。

注2) 「環境基準との比較」の構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはなりません。

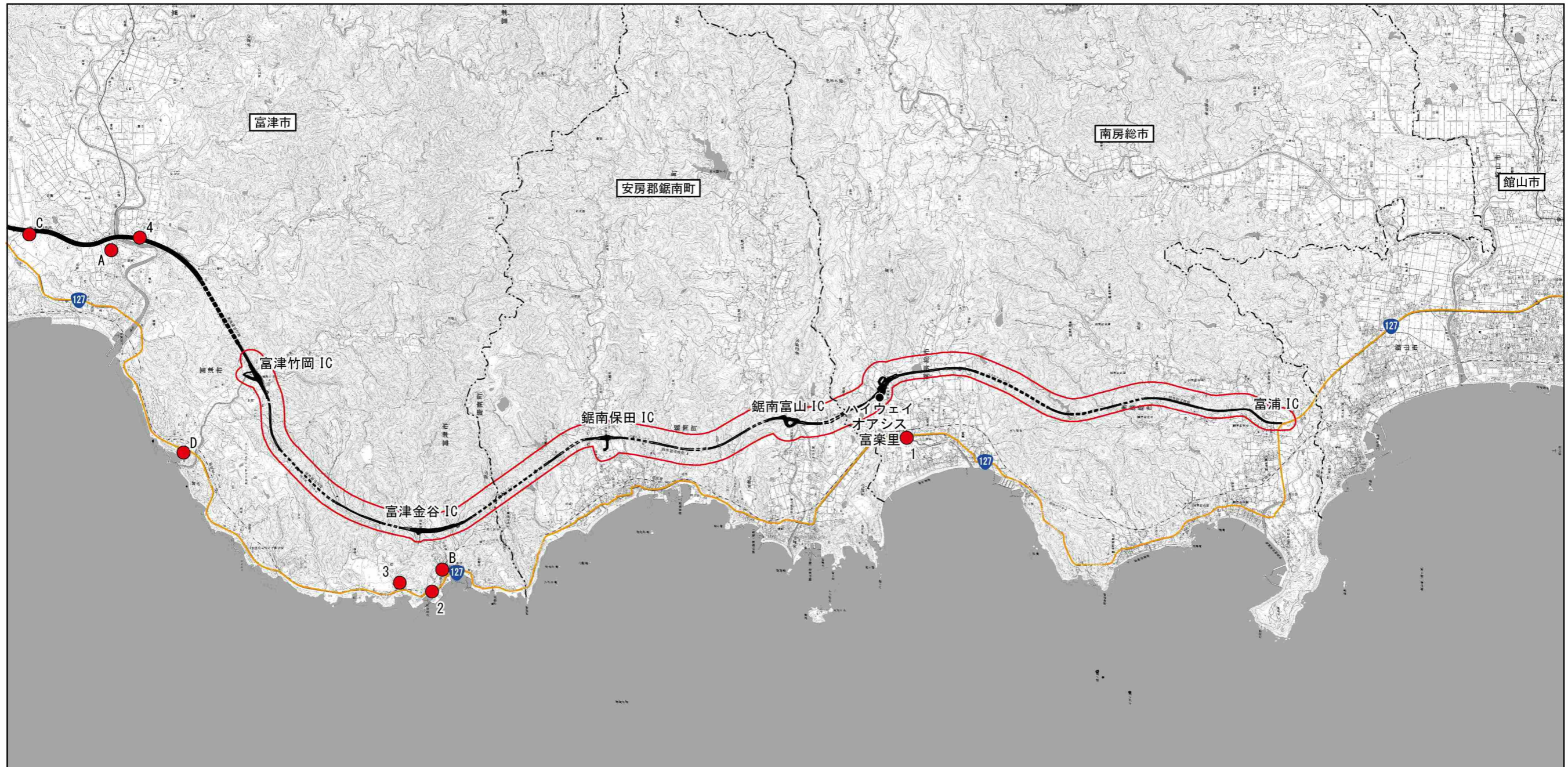
注3) 「X」は環境基準のあてはめがないことを示します。平成17年度に環境基準を改正し、B類型とみなすこととされています。

注4) 環境基準は、「幹線交通を担う道路に近接する空間」の昼間70dB、夜間65dBを当てはめて、比較しています。

出典：「2020(令和2)年版千葉県環境白書」(令和3年3月、千葉県環境生活部)

4) 振動の状況

事業実施想定区域及びその周囲においては、道路交通振動の調査は実施されていません。



凡例

- 事業実施想定区域
- 既存自動車専用道路
- - - 既存自動車専用道路（トンネル部）
- · - · - 市町界
- A～D: 環境騒音調査地点
- 1～4: 道路交通騒音調査地点

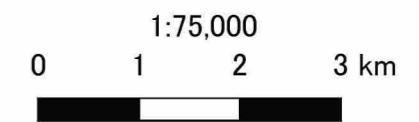


図 3.1-8 騒音調査地点位置図

出典：「令和元年版 千葉県環境白書」（令和2年2月、千葉県環境生活部）
「富津市の環境（令和2年度）」（更新日：令和3年4月7日、富津市ホームページ）

3.1.2 水象、水質、水底の底質その他の水に係る環境の状況

1) 水象の状況

事業実施想定区域及びその周囲においては、二級河川及び準用河川が存在します。主な河川は表 3.1-6 に、河川や池等の位置は図 3.1-9 に示すとおりです。

表 3.1-6(1) 事業実施想定区域及びその周囲の河川

種別	河川名	指定延長(m)	
2級河川	湊川	左右岸	33,136
	相川	左右岸	1,000
	不入斗川	左右岸	2,500
	志駒川	左右岸	9,500
	白狐川	左右岸	1,000
	金谷川	左右岸	1,650
	元名川	左右岸	2,250
	保田川	左右岸	4,900
	佐久間川	左右岸	10,500
	岩井川(大川含む)	左右岸	3,900
	岡本川	左右岸	6,605
	平久里川	左右岸	19,472
	滝川	左右岸	3,600
	山名川	左右岸	7,000
	増間川	左右岸	4,600

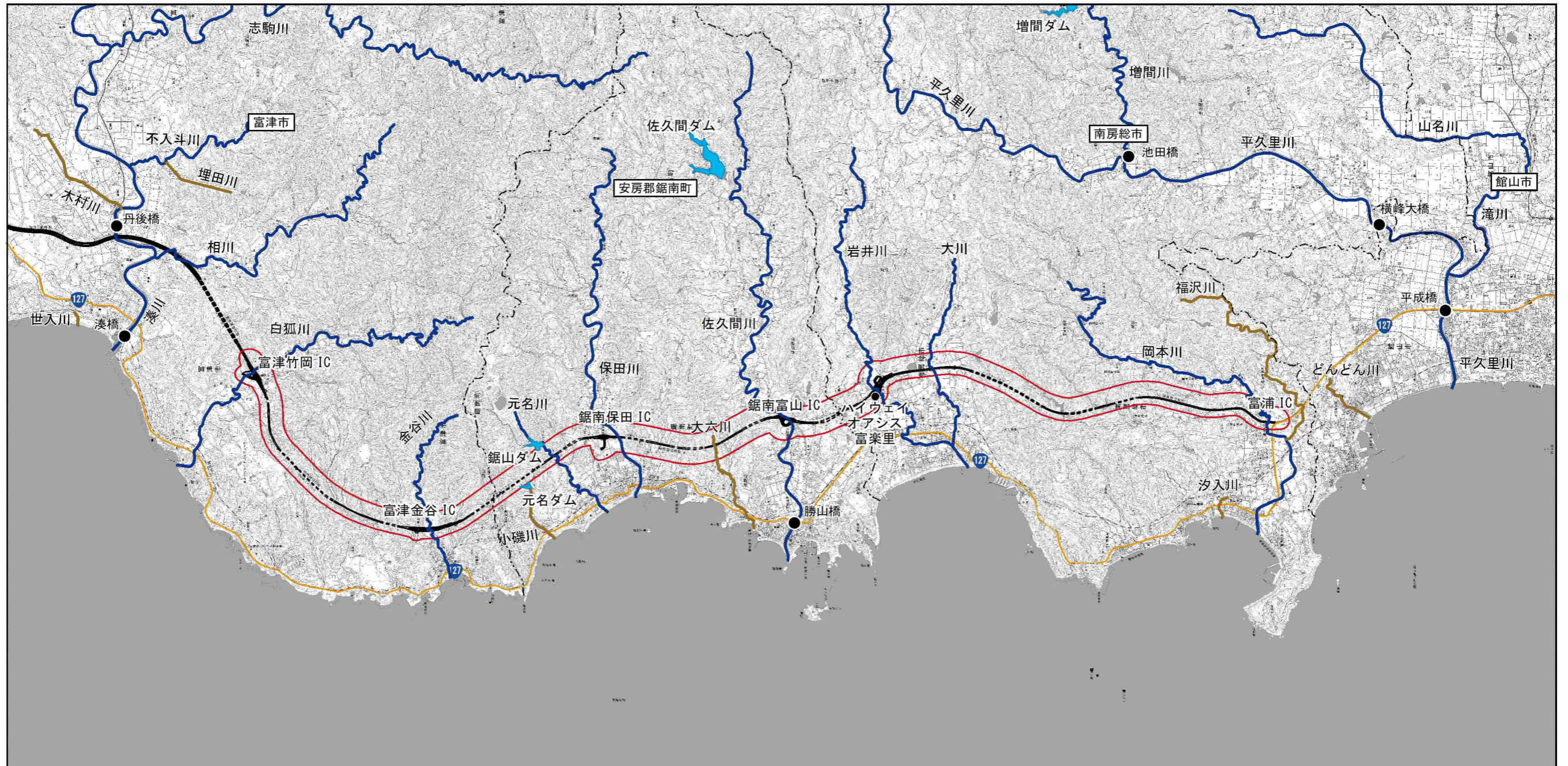
出典：「君津土木事務所管内図」(令和3年、千葉県君津土木事務所)
「安房土木事務所管内図」(令和2年、千葉県安房土木事務所)

表 3.1-6 事業想定区域及びその周囲の河川

種別	市町名	河川名	準用河川 延長(m)
準用河川	富津市	木村川	1,600
		埋田川	527
		世入川	420
	安房郡鋸南町	小磯川	1,200
		大六川	885
	南房総市	福沢川 ^注	188.5
		汐入川	487
	館山市	福沢川 ^注	188.5
		どんどん川	380

注)南房総市の福沢川と館山市の福沢川は同一河川です。

出典：「準用河川の指定について」(更新日：令和2年7月30日、千葉県ホームページ)
「君津土木事務所管内図」(令和3年、千葉県君津土木事務所)
「安房土木事務所管内図」(令和2年、千葉県安房土木事務所)



凡例

- 事業実施想定区域
- 既存自動車専用道路
- - - 既存自動車専用道路（トンネル部）
- · - · - 市町界
- 二級河川
- 準用河川
- 水質調査地点
- ダム



図 3.1-9 水象の状況及び水質、底質調査地点位置図

出典：「君津土木事務所管内図」（平成 26 年 11 月、千葉県君津土木事務所）
「安房土木事務所管内図」（令和 2 年、千葉県安房土木事務所）

2) 水質の状況

事業実施想定区域及びその周囲においては、令和元年度に4河川6地点で公共用水域の水質調査が行われています。公共用水域の水質調査結果は表3.1-7に、ダイオキシン類調査値結果は表3.1-8に、調査地点は前述の図3.1-9に示すとおりです。

人の健康の保護に関する環境基準は全公共用水域に、生活環境の保全に関する環境基準は類型指定されている水域（平久里川（横峰大橋、平成橋）、増間川（池田橋）、湊川（湊橋、丹後橋））に適用されています。

事業実施想定区域及びその周囲における令和元年度の調査結果では、生活環境の保全に関する環境基準が類型指定されている水域全ての地点で大腸菌群数が環境基準を満足していません。

また、池田橋（増間川）において水素イオン濃度（pH）が、湊橋（湊川）において溶存酸素（DO）が、平成橋（平久里川）において浮遊物質（SS）が環境基準を満足していない調査結果が見られていますが、それ以外の項目及び調査地点については、いずれも環境基準を満足しています。

その他、健康項目及びダイオキシン類については、いずれの調査地点でも環境基準を満足しています。

表 3.1-7(1) 水質調査結果(生活環境項目：令和元年度)

河川名	平久里川		平久里川		増間川		環境基準
	横峰大橋		平成橋		池田橋		
調査地点	A 類型		A 類型		A 類型		
類型	測定値	m/n	測定値	m/n	測定値	m/n	
pH	7.8~8.1	0/4	7.8~8.4	0/12	7.6~ <u>8.6</u>	1/12	6.5 以上 8.5 以下
DO(mg/L)	8.8~10.0	0/4	7.6~10	0/12	7.9~12.0	0/12	7.5 以上
BOD(mg/L)	0.5~1.3	0/4	0.5~4.7	4/12	0.5~0.8	0/12	2 以下
COD(mg/L)	5.6~7.5	-	5.6~9.7	-	3.8~7.2	-	-
SS(mg/L)	11~25	0/4	6~ <u>38</u>	1/12	1~19	0/12	25 以下
大腸菌群数 (MPN/100mL)	<u>11,000</u> ~ <u>280,000</u>	4/4	<u>11,000</u> ~ <u>240,000</u>	12/12	940~ <u>92,000</u>	11/12	1,000 以下
全窒(mg/L)	0.97~1.4	-	1.0~1.8	-	0.39~1.1	-	-
全リン(mg/L)	0.18~0.26	-	0.18~0.44	-	0.13~0.26	-	-
全亜鉛(mg/L)	0.003~0.006	0/4	0.004~0.007	0/4	0.001~0.006	0/4	0.03 以下
ノニルフェノール (mg/L)	-	-	0.00006~ 0.00009	0/2	<0.00006	0/2	0.0006 以下
LAS(mg/L)	-	-	0.0011~ 0.0050	0/2	0.0007~ 0.0009	0/2	0.02 以下

注 1) 測定値は最小値～最大値を示します。

注 2) m: 環境基準を満足しなかった検体数 n: 全検体数を示します。

注 3) 下線は環境基準の超過を示します。

出典：「公共用水域地点別水質測定結果データベース」(更新日：令和 2 年 9 月 30 日、千葉県ホームページ)

表 3.1-7(2) 水質調査結果(生活環境項目：令和元年度)

河川名	湊川		湊川		環境基準
	湊橋		丹後橋		
調査地点	A 類型		A 類型		
類型	測定値	m/n	測定値	m/n	
pH	7.8~8.1	0/12	7.9~8.1	0/4	6.5 以上 8.5 以下
DO(mg/L)	<u>5.1</u> ~11.0	3/12	8.2~11.0	0/4	7.5 以上
BOD(mg/L)	0.5~1.3	0/12	0.5~1.2	0/4	2 以下
COD(mg/L)	3.7~8.6	-	5.1~8.6	-	-
SS(mg/L)	1~14	0/12	4~14	0/4	25 以下
大腸菌群数(MPN/100mL)	<u>1,300</u> ~ <u>49,000</u>	12/12	<u>11,000</u> ~ <u>70,000</u>	4/4	1,000 以下
全窒(mg/L)	0.38~0.90	-	0.57~0.92	-	-
全リン(mg/L)	0.049~0.096	-	0.078~0.110	-	-
全亜鉛(mg/L)	0.002~0.005	0/4	0.002~0.003	0/4	0.03 以下
ノニルフェノール(mg/L)	<0.00006	0/4	-	-	0.0006 以下
LAS(mg/L)	0.0006~0.0032	0/2	-	-	0.02 以下

注 1) 測定値は最小値～最大値を示します。

注 2) m: 環境基準を満足しなかった検体数 n: 全検体数を示します。

注 3) 下線は環境基準の超過を示します。

出典：「公共用水域地点別水質測定結果データベース」(更新日：令和 2 年 9 月 30 日、千葉県ホームページ)

表 3.1-7(3) 水質調査結果(生活環境項目：令和元年度)

河川名	佐久間川		環境基準
調査地点	勝山橋		
類型	-		
調査項目	測定値	m/n	
pH	7.7~7.9	—	—
DO(mg/L)	8.5~12.0	—	—
BOD(mg/L)	1.0~1.7	—	—
COD(mg/L)	5.7~8.9	—	—
SS(mg/L)	13~75	—	—
大腸菌群数(MPN/100mL)	7,900~49,000	—	—
全窒(mg/L)	1.2~1.7	—	—
全リン(mg/L)	0.18~0.39	—	—
全亜鉛(mg/L)	0.003~0.0012	—	—
ノニルフェノール(mg/L)	-	—	—

注1)測定値は最小値～最大値を示します。

注2)m:環境基準を満足しなかった検体数 n:全検体数を示します。ただし、勝山橋(佐久間川)は生活環境の保全に関する環境基準の類型指定がされていません。

出典：「公共用水域地点別水質測定結果データベース」

(更新日：令和2年9月30日、千葉県ホームページ)

表 3.1-7(4) 水質調査結果(健康項目：令和元年度)

調査項目	単位	平久里川	平久里川	増間川	環境基準
		横峰大橋	平成橋	池田橋	
カドミウム	mg/L	-	< 0.0003	< 0.0003	0.003 以下
全シアン	mg/L	-	< 0.1	< 0.1	検出されないこと
鉛	mg/L	-	0.001	0.001	0.01 以下
六価クロム	mg/L	-	< 0.005	< 0.005	0.05 以下
砒素	mg/L	-	0.001	0.001	0.01 以下
総水銀	mg/L	-	< 0.0005	< 0.0005	0.0005 以下
アルキル水銀	mg/L	-	-	-	検出されないこと
P C B	mg/L	-	< 0.0005	< 0.0005	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	-	< 0.002	< 0.002	0.02 以下
四塩化炭素	mg/L	-	< 0.0002	< 0.0002	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	-	< 0.0004	< 0.0004	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	-	< 0.01	< 0.01	0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	< 0.004	< 0.004	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	-	< 0.1	< 0.1	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	-	< 0.0006	< 0.0006	0.006 以下
トリクロロエチレン	mg/L	-	< 0.001	< 0.001	0.01 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	-	< 0.001	< 0.001	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	-	< 0.0002	< 0.0002	0.002 以下
チウラム	mg/L	-	< 0.0006	< 0.0006	0.006 以下
シマジン	mg/L	-	< 0.0003	< 0.0003	0.003 以下
チオベンカルブ	mg/L	-	< 0.002	< 0.002	0.02 以下
ベンゼン	mg/L	-	< 0.001	< 0.001	0.01 以下
セレン	mg/L	-	< 0.001	< 0.001	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.74	0.83	0.50	10 以下
ふっ素	mg/L	-	0.17	0.13	0.8 以下
ほう素	mg/L	-	0.3	0.2	1 以下
1,4-ジオキサン	mg/L	-	< 0.005	< 0.005	0.05 以下

注1)調査結果の値は、年間平均値を示します。ただし、全シアンは、最高値を示します。

注2)下線は環境基準の超過を示します。

出典：「公共用水域地点別水質測定結果データベース」(更新日：令和2年9月30日、千葉県ホームページ)

表 3.1-7(5) 水質調査結果(健康項目：令和元年度)

調査項目	単位	湊川	湊川	佐久間川	環境基準
		湊橋	丹後橋	勝山橋	
カドミウム	mg/L	< 0.0003	-	< 0.0003	0.003 以下
全シアン	mg/L	< 0.1	-	< 0.1	検出されないこと
鉛	mg/L	< 0.001	-	0.002	0.01 以下
六価クロム	mg/L	< 0.005	-	< 0.005	0.05 以下
砒素	mg/L	0.001	-	0.001	0.01 以下
総水銀	mg/L	< 0.0005	-	< 0.0005	0.0005 以下
アルキル水銀	mg/L	-	-	-	検出されないこと
P C B	mg/L	< 0.0005	-	-	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	< 0.002	-	< 0.002	0.02 以下
四塩化炭素	mg/L	< 0.0002	-	< 0.002	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	< 0.0004	-	< 0.0004	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	< 0.01	-	< 0.01	0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	< 0.004	-	< 0.004	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	< 0.1	-	< 0.1	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	< 0.0006	-	< 0.0006	0.006 以下
トリクロロエチレン	mg/L	< 0.001	-	< 0.001	0.01 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	< 0.001	-	< 0.001	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	< 0.0002	-	< 0.0002	0.002 以下
チウラム	mg/L	< 0.0006	-	< 0.0006	0.006 以下
シマジン	mg/L	< 0.0003	-	< 0.0003	0.003 以下
チオベンカルブ	mg/L	< 0.002	-	< 0.002	0.02 以下
ベンゼン	mg/L	< 0.001	-	< 0.001	0.01 以下
セレン	mg/L	< 0.001	-	< 0.001	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.36	0.41	0.81	10 以下
ふっ素	mg/L	0.27	-	0.19	0.8 以下
ほう素	mg/L	-	-	0.2	1 以下
1,4-ジオキサン	mg/L	< 0.005	-	-	0.05 以下

注1)調査結果の値は、年間平均値を示します。ただし、全シアンは、最高値を示します。

注2)下線は環境基準の超過を示します。

出典：「公共用水域地点別水質測定結果データベース」(更新日：令和2年9月30日、千葉県ホームページ)

表 3.1-8 ダイオキシン類調査結果(令和元年度)

単位：pg-TEQ/L

河川名	調査地点	測定回数	測定結果	環境基準
平久里川	平成橋	2	0.66	1 以下
湊川	丹後橋	1	0.13	

注 1) 調査結果の値は、年間平均値を示します。

注 2) 下線は環境基準の超過を示します。

出典：「令和元年度ダイオキシン類常時監視測定結果」（令和 2 年 8 月、千葉県環境生活部）

3) 底質の状況

事業実施想定区域及びその周囲においては、水底の底質の測定は実施されていません。また、事業実施想定区域を通過する河川では測定は実施されていません。

4) 地下水の状況

千葉県では、県下の全体的な地下水質の概況を把握するために、県内を 2km メッシュごとに地下水の環境基準項目について調査を実施しています(以下、「概況調査」といいます。)。また、過去の概況調査で地下水汚染が確認された地点では、地点ごとに汚染が確認されている物質について継続調査を実施しています(以下、「継続監視調査」といいます。)。概況調査を実施した地点のうち、一部については地下水の要監視項目の調査を実施しています(以下、「要監視項目調査」といいます。)。

事業実施想定区域及びその周囲においては、令和元年度に 11 地点で概況調査が、3 地点で継続監視調査が、1 地点で要監視項目調査が実施されています。

概況調査結果は表 3.1-9 に、継続監視調査結果は表 3.1-10 に、要監視項目調査結果は表 3.1-11 に示すとおりです。

概況調査結果では、南房総市の安馬谷地点で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の環境基準を超過しています。それ以外の項目では、環境基準を満足しています。また、継続監視調査結果では、3 地点のうちテトラクロロエチレンが 1 地点、ほう素が 1 地点で環境基準を超過しています。要監視項目調査では、全ての項目で指針値を下回っています。

表 3.1-9(1) 地下水水質調査結果【概況調査】

項目	地点	館山市			環境基準
		宮城	山本	八幡	
調査日		R1. 8. 26	R1. 8. 26	R1. 8. 26	
カドミウム	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.003 以下
全シアン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
鉛	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
六価クロム	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.05 以下
砒素	(mg/L)	0.001	0.001	0.003	0.01 以下
総水銀	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.0005 以下
アルキル水銀	(mg/L)	-	-	-	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル (PCB)	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
ジクロロメタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.02 以下
四塩化炭素	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.002 以下
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.006 以下
トリクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
テトラクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.002 以下
チウラム	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.006 以下
シマジン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.003 以下
チオベンカルブ	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.02 以下
ベンゼン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
セレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	(mg/L)	8.1	1.3	0.13	10 以下
ふっ素	(mg/L)	0.09	0.08	0.1	0.8 以下
ほう素	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	1 以下
1,4-ジオキサン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.05 以下

注1) 下線は環境基準の超過を示します。

出典：「令和元年度公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和3年3月、千葉県ホームページ)

表 3.1-9(2) 地下水水質調査結果【概況調査】

項目	地点	南房総市			環境基準
		安馬谷	高崎	千倉町白子	
調査日		R1. 8. 26	R1. 8. 26	R1. 8. 26	
カドミウム	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.003 以下
全シアン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
鉛	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
六価クロム	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.05 以下
砒素	(mg/L)	0.007	不検出	0.004	0.01 以下
総水銀	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.0005 以下
アルキル水銀	(mg/L)	-	-	-	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル (PCB)	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
ジクロロメタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.02 以下
四塩化炭素	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.002 以下
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.006 以下
トリクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
テトラクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.002 以下
チウラム	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.006 以下
シマジン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.003 以下
チオベンカルブ	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.02 以下
ベンゼン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
セレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	(mg/L)	<u>13.0</u>	0.74	0.29	10 以下
ふっ素	(mg/L)	0.08	不検出	不検出	0.8 以下
ほう素	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	1 以下
1,4-ジオキサン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.05 以下

注1) 下線は環境基準の超過を示します。

出典：「令和元年度公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和3年3月、千葉県ホームページ)

表 3.1-9(3) 地下水水質調査結果【概況調査】

項目	地点	南房総市		鋸南町	環境基準
		山名	和田町仁我浦	小保田	
調査日		R1. 8. 26	R1. 8. 26	R1. 8. 7	
カドミウム	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.003 以下
全シアン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
鉛	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
六価クロム	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.05 以下
砒素	(mg/L)	0.001	0.001	0.001	0.01 以下
総水銀	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.0005 以下
アルキル水銀	(mg/L)	-	-	-	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル (PCB)	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
ジクロロメタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.02 以下
四塩化炭素	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.002 以下
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.006 以下
トリクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
テトラクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.002 以下
チウラム	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.006 以下
シマジン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.003 以下
チオベンカルブ	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.02 以下
ベンゼン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
セレン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.01 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	(mg/L)	1.3	1.1	0.97	10 以下
ふっ素	(mg/L)	不検出	不検出	0.12	0.8 以下
ほう素	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	1 以下
1,4-ジオキサン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	0.05 以下

注1) 下線は環境基準の超過を示します。

出典：「令和元年度公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和3年3月、千葉県ホームページ)

表 3.1-9(4) 地下水水質調査結果【概況調査】

項目	地点	富津市		環境基準
		売津	篠部	
調査日		R1. 8. 7	R1. 8. 7	
カドミウム	(mg/L)	不検出	不検出	0.003 以下
全シアン	(mg/L)	不検出	不検出	検出されないこと
鉛	(mg/L)	不検出	不検出	0.01 以下
六価クロム	(mg/L)	不検出	不検出	0.05 以下
砒素	(mg/L)	0.001	0.001	0.01 以下
総水銀	(mg/L)	不検出	不検出	0.0005 以下
アルキル水銀	(mg/L)	-	-	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル(PCB)	(mg/L)	不検出	不検出	検出されないこと
ジクロロメタン	(mg/L)	不検出	不検出	0.02 以下
四塩化炭素	(mg/L)	不検出	不検出	0.002 以下
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	不検出	不検出	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	不検出	不検出	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	不検出	不検出	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	不検出	不検出	0.006 以下
トリクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	0.01 以下
テトラクロロエチレン	(mg/L)	不検出	不検出	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	不検出	不検出	0.002 以下
チウラム	(mg/L)	不検出	不検出	0.006 以下
シマジン	(mg/L)	不検出	不検出	0.003 以下
チオベンカルブ	(mg/L)	不検出	不検出	0.02 以下
ベンゼン	(mg/L)	不検出	不検出	0.01 以下
セレン	(mg/L)	不検出	不検出	0.01 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	(mg/L)	4.1	3.9	10 以下
ふっ素	(mg/L)	不検出	0.1	0.8 以下
ほう素	(mg/L)	不検出	不検出	1 以下
1,4-ジオキサン	(mg/L)	不検出	不検出	0.05 以下

注1) 下線は環境基準の超過を示します。

出典：「令和元年度公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」（令和3年3月、千葉県ホームページ）

表 3.1-10 地下水水質調査結果【継続監視調査】

項目	地点	富津市			環境基準
		上後	大堀	竹岡	
調査日		R1. 8. 7	R1. 8. 7	R1. 8. 7	
カドミウム	(mg/L)	-	-	-	0.003 以下
全シアン	(mg/L)	-	-	-	検出されないこと
鉛	(mg/L)	-	-	-	0.01 以下
六価クロム	(mg/L)	-	-	-	0.05 以下
砒素	(mg/L)	-	-	-	0.01 以下
総水銀	(mg/L)	-	-	-	0.0005 以下
アルキル水銀	(mg/L)	-	-	-	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル (PCB)	(mg/L)	-	-	-	検出されないこと
ジクロロメタン	(mg/L)	-	-	-	0.02 以下
四塩化炭素	(mg/L)	-	不検出	不検出	0.002 以下
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	-	不検出	0.0002	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	-	-	-	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	-	不検出	不検出	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	-	不検出	0.021	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	-	不検出	不検出	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	-	-	-	0.006 以下
トリクロロエチレン	(mg/L)	-	不検出	不検出	0.01 以下
テトラクロロエチレン	(mg/L)	-	<u>0.052</u>	不検出	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	-	-	-	0.002 以下
チウラム	(mg/L)	-	-	-	0.006 以下
シマジン	(mg/L)	-	-	-	0.003 以下
チオベンカルブ	(mg/L)	-	-	-	0.02 以下
ベンゼン	(mg/L)	-	-	-	0.01 以下
セレン	(mg/L)	-	-	-	0.01 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	(mg/L)	-	-	-	10 以下
ふっ素	(mg/L)	-	-	-	0.8 以下
ほう素	(mg/L)	<u>5.6</u>	-	-	1 以下
1,4-ジオキサン	(mg/L)	-	-	-	0.05 以下

注1) 下線は環境基準の超過を示します。

出典：「令和元年度公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」（令和3年3月、千葉県ホームページ）

表 3.1-11 地下水水質調査結果【要監視項目調査】

項 目	地 点	館山市	指針値
		八幡	
調査日		R1. 8. 26	
クロロホルム	(mg/L)	-	0.06 以下
1,2-ジクロロプロパン	(mg/L)	-	0.06 以下
p-ジクロロベンゼン	(mg/L)	-	0.2 以下
イソキサチオン	(mg/L)	-	0.008 以下
ダイアジノン	(mg/L)	-	0.005 以下
フェニトロチオン	(mg/L)	-	0.003 以下
イソプロチオラン	(mg/L)	-	0.04 以下
オキシシン銅	(mg/L)	-	0.04 以下
クロロタロニル	(mg/L)	-	0.05 以下
プロピサミド	(mg/L)	-	0.008 以下
EPN	(mg/L)	不検出	0.006 以下
ジクロロボス	(mg/L)	-	0.008 以下
フェノブカルブ	(mg/L)	-	0.03 以下
イプロベンホス	(mg/L)	-	0.008 以下
クロルニトルフェン	(mg/L)	-	-
トルエン	(mg/L)	-	0.6 以下
キシレン	(mg/L)	-	0.4 以下
フタル酸ジエチルヘキシル	(mg/L)	-	0.06 以下
ニッケル	(mg/L)	0.001	-
モリブデン	(mg/L)	-	0.07 以下
アンチモン	(mg/L)	不検出	0.02 以下
エピクロロヒドリン	(mg/L)	不検出	0.02 以下
全マンガン	(mg/L)	0.03	0.2 以下
ウラン	(mg/L)	不検出	0.002 以下

注1) 下線は環境基準の超過を示します。

出典：「令和元年度公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」（令和3年3月、千葉県ホームページ）